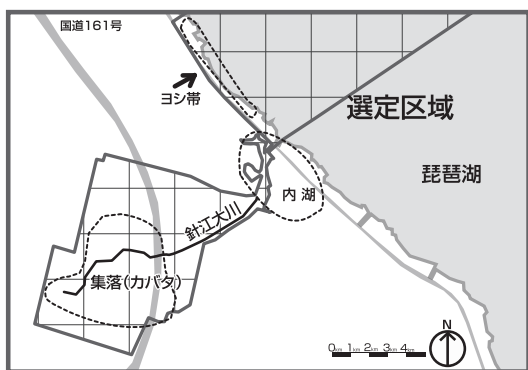
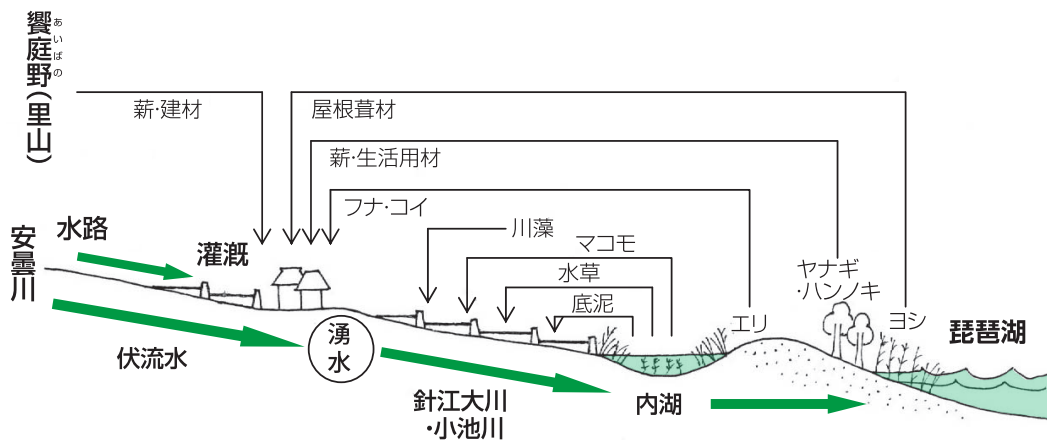




水環境利用と文化的景観の全体構造



▲重要文化的景観選定区域（新旭町）

新旭町針江・霜降は、安曇川によって形づくられた扇状地の中央部に位置する集落で、周辺には豊富な湧水等によって育まれた水田が広がっています。ここでは湧水を利用した独特の生活が営まれるとともに、集落・河川・水田・ヨシ帯等が一体的な水環境を形成する貴重な地域であることから、平成22年8月5日『高島市針江・霜降の水辺景観』として市内で2つ目となる重要文化的景観に選定され

『針江・霜降の水辺景観』 重要文化的景観に選定



ました。針江・霜降地区には、針江大川や小池川など大小の川が流れていて、地域の北東部で合流し「中島」とよばれる内湖に流れ込んでいます。内湖に集められた水は、いったん貯留され、水の中に含まれる栄養分は、内湖の底に沈殿し、比較的きれいになった上澄みの水だけが、琵琶湖へ流れ出す仕組みになっています。また、溜まった汚泥は水田造成の客土に、水底の水草は田舟で運ばれ、田植え後の追肥とされました。これらの河川と内湖で行われた生業活動から、「集落―河川―水田―内湖―琵琶湖」をつなぐ、この地区全体の水環境システムが見えてきます。日々の営みは、すべてつながりがあり、身近な自然を「利用しながら手入れするシステム」が作り出されてきました。「利用しながら手入れするシステム」は、地域内のあらゆる場所

編集者のつぶやき

表紙は、びわこ全国青少年演劇祭の1シーン。子どもたちの演じる芝居にぐいぐい引き込まれました。演劇には、舞台ならではの臨場感が感じられるという魅力がありますね。今号の特集は市民劇第2弾「琵琶湖治水の物語」。江戸後期、琵琶湖の水害から農民や田畑を救うため立ち上がった藤本太郎兵衛の姿を描きます。今回は芝居・群読・太鼓とのコラボをされるということで、どんな劇になるのかとても楽しみです。（広報担当S）

をつなげる空間的仕組みにもなっています。そしてカバタ、ヨシ帯などが結びついて全体で一つの「文化的景観」を作り上げています。その中でも、カバタのある風景は、湧水が豊かな針江・霜降の象徴といえるもので、現在も生活の一部として使用されているものが多く、伝統的な水とのかかわり方を残す数少ない地域といえるでしょう。人と水との深いかかわりのなかで残されたカバタ、そのカバタに新しい命を吹き込み、新しく文化として再生させようとする動きが始まるうとしています。そこには、大きな財産として次代に受け継いで行こうという地域の共同意識の深まりが感じられます。（文化財課）